

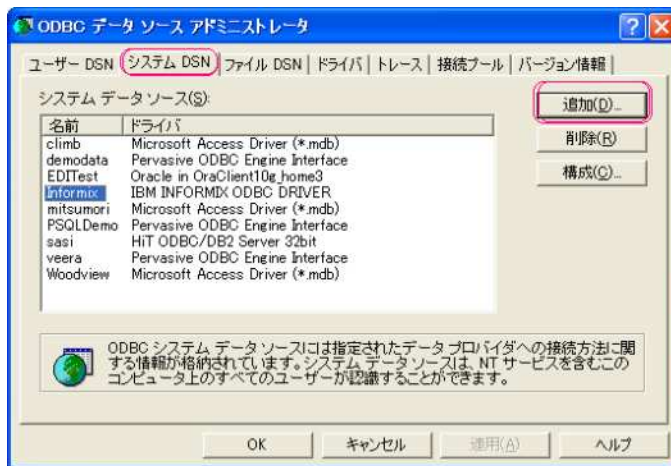
## アプリケーション・ノート

HiT ODBC/400 ドライバを使用して IBM AS/400 (i Series)の DB2 からデータを取得して Windows 上の MS Access 及び Excel での活用方法

Step 1: Windows OS に HiT ODBC/400 ドライバをインストールします。詳細はインストール資料を参照ください。

Step 2: アドミニストレータ・コンソールから ODBC データベース・アドミニストレータ・ウィザードをオープンします。

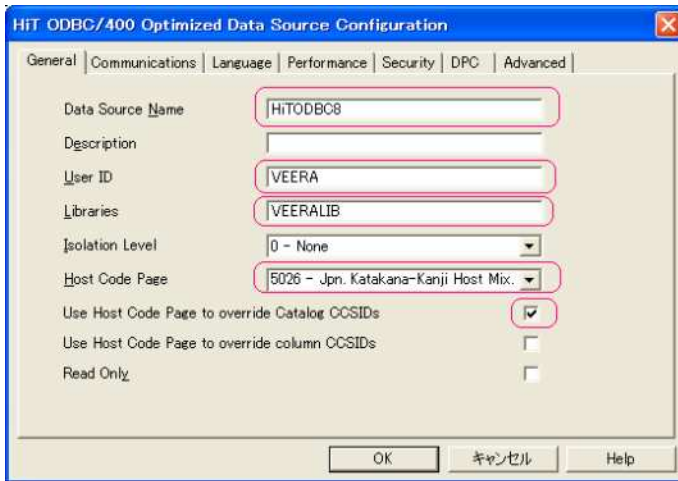
Step 3: システム DSN タブを選択し、追加ボタンをクリックします。



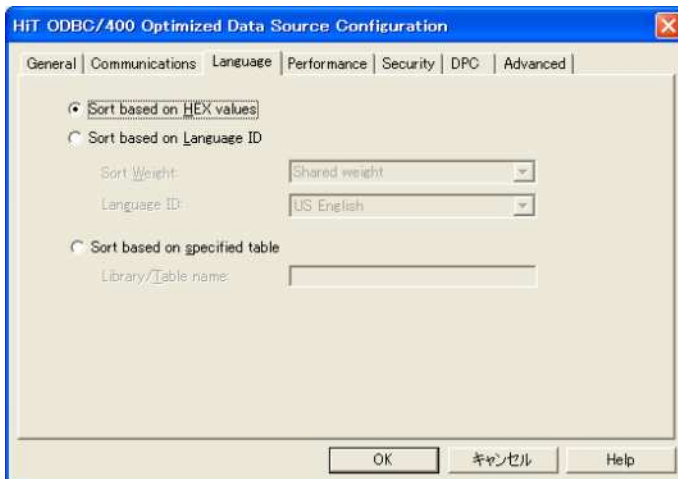
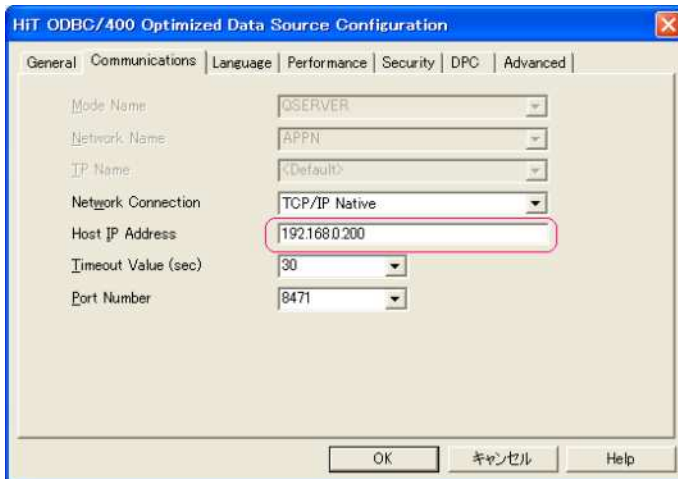
Step 4: 「HiT ODBC/400 optimized 32 bit」 ドライバを選択し、完了ボタンをクリックします。

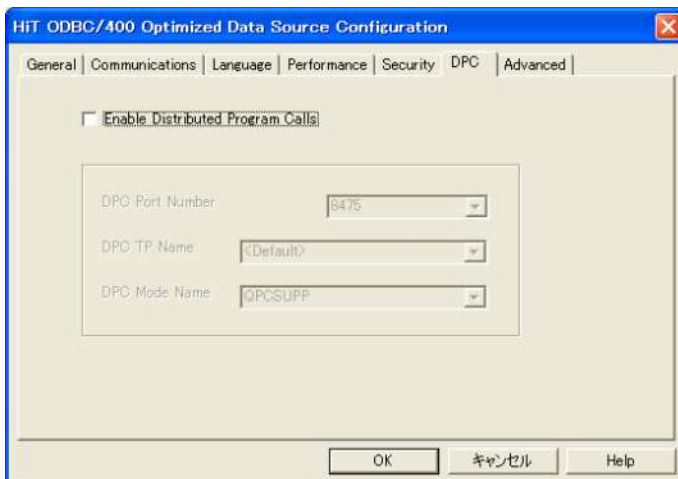
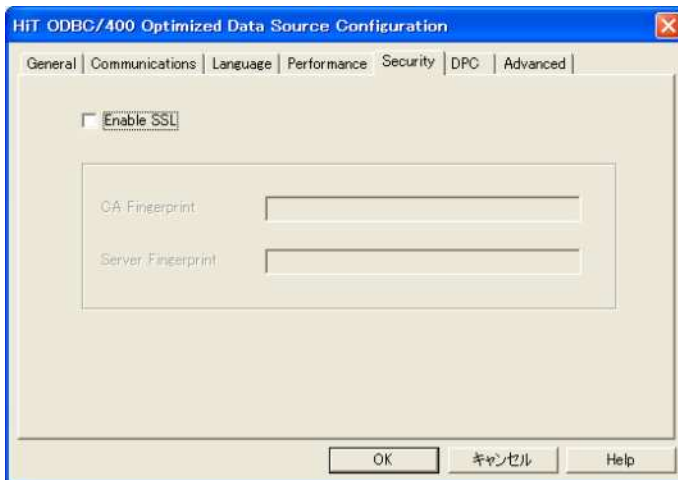
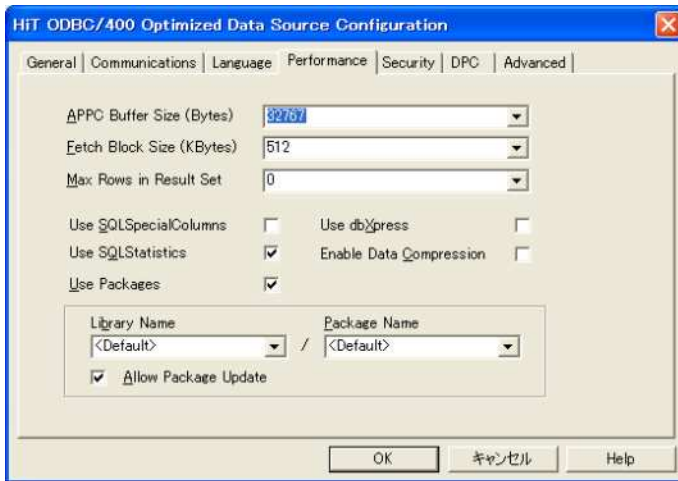


Step 5: General タブで、Data Source Name, User ID, Password, Host Code Page を指定します。

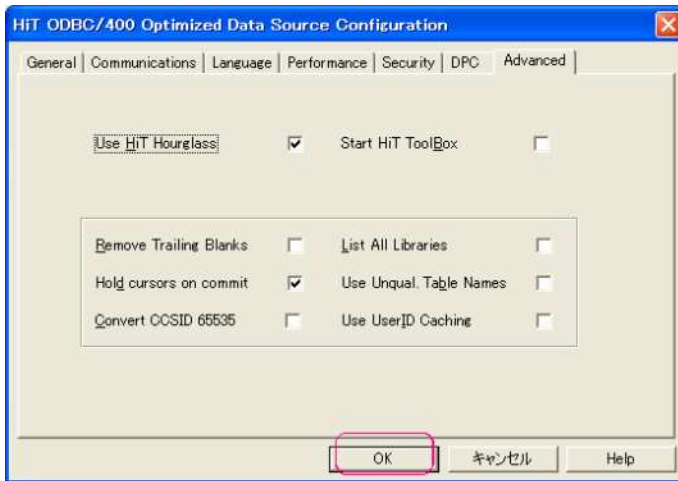


Step 6: Communications タブで Host IP Address を指定します。それ以外のタブでは特に追加設定は必要ありません。





Step 7: Advanced タブで OK をクリックします。

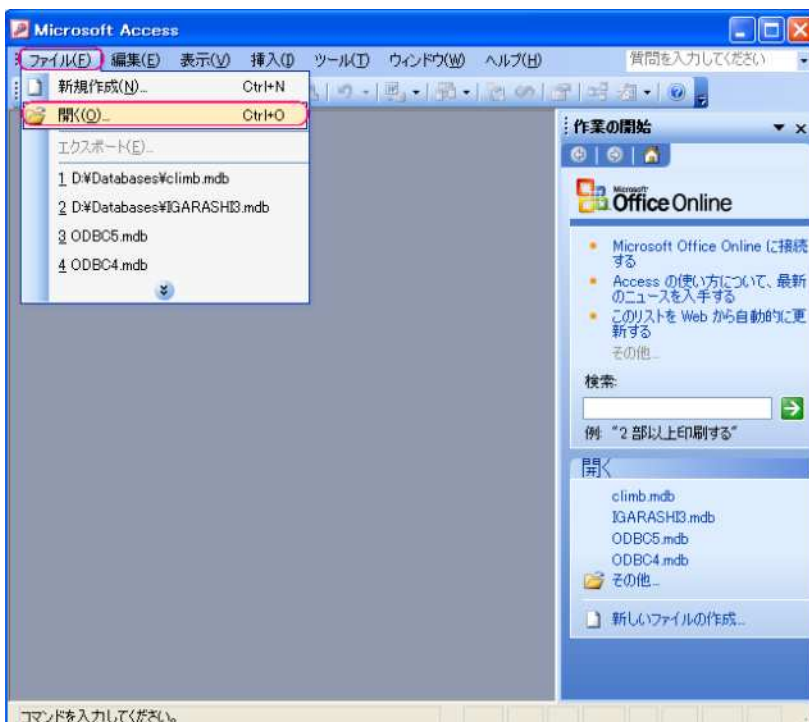


Step 8: システム DSN のシステムデータソースで確認をします。

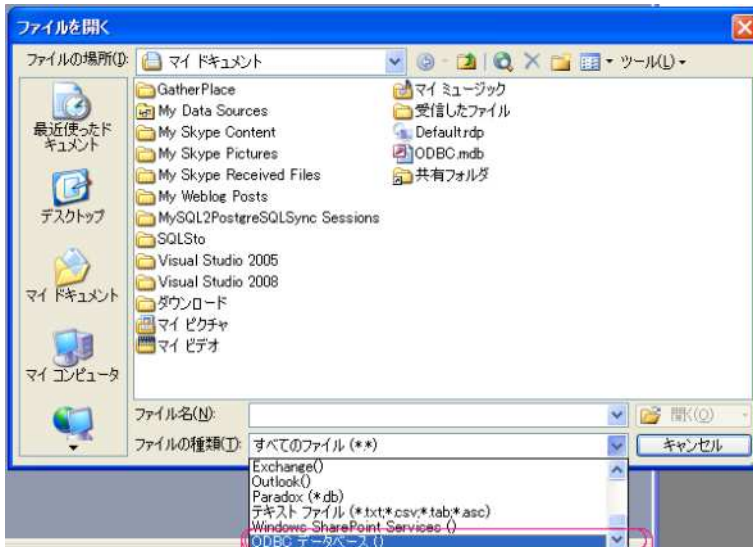


### MS Access からの接続:

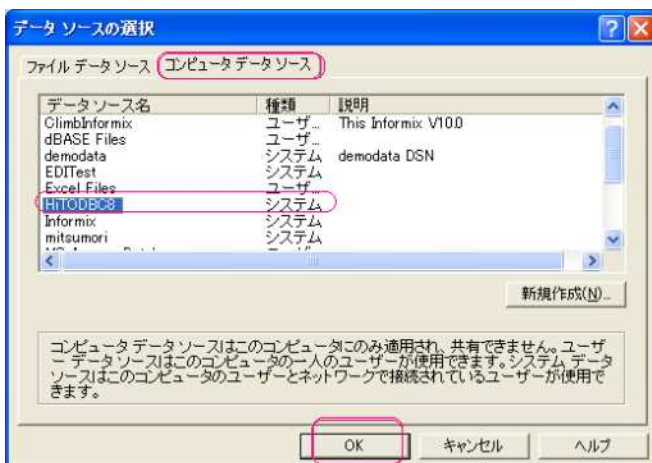
1. マイクロソフト Access を起動させ、ファイル オープンをクリックします。



2. ODBC データベースをファイル・タイプとして選択します。



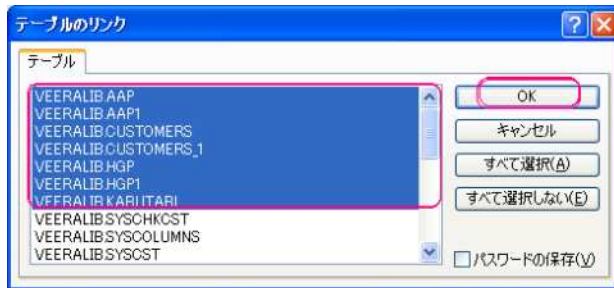
3. コンピュータデータソース・タブで HiTODBC を選択し、OK をクリックします。



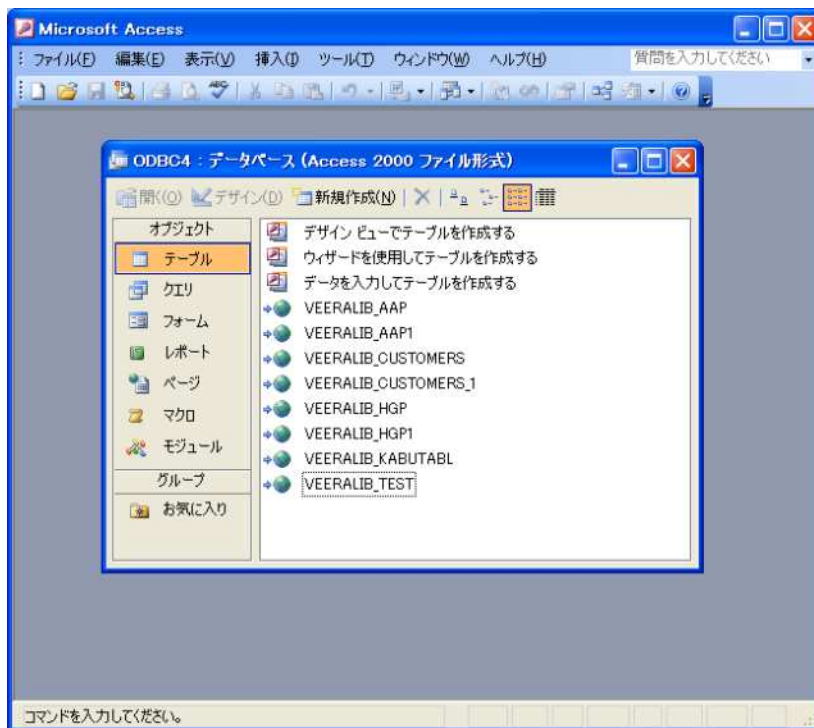
4. Login ID, Password, Database 名を入力/選択し、OK ボタンをクリックします。



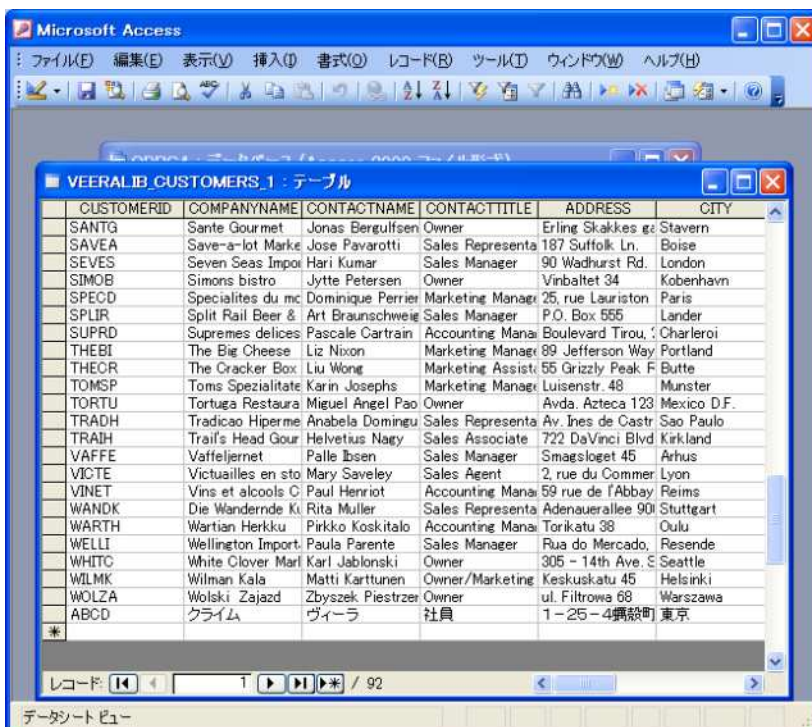
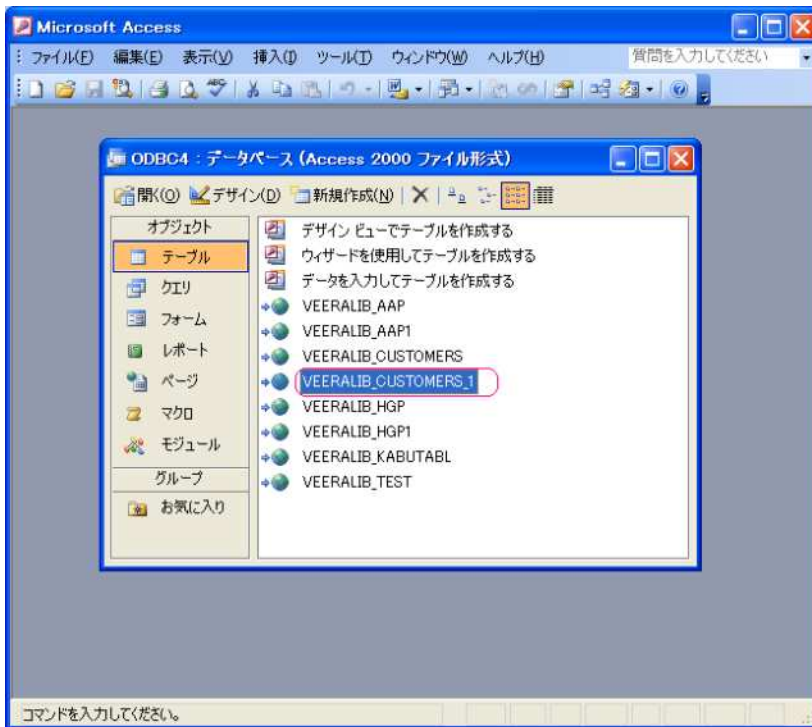
5. テーブル名を選択し、OK ボタンをクリックします。



6. 次に選択したテーブルが MS Access テーブル・リストに現れます。これらのテーブルは実テーブルではなく、リンクド・テーブルです。すべてのデータは AS/400 データベース・テーブル上にあります。



7. データをビュー、編集したいテーブルをダブルクリックします。

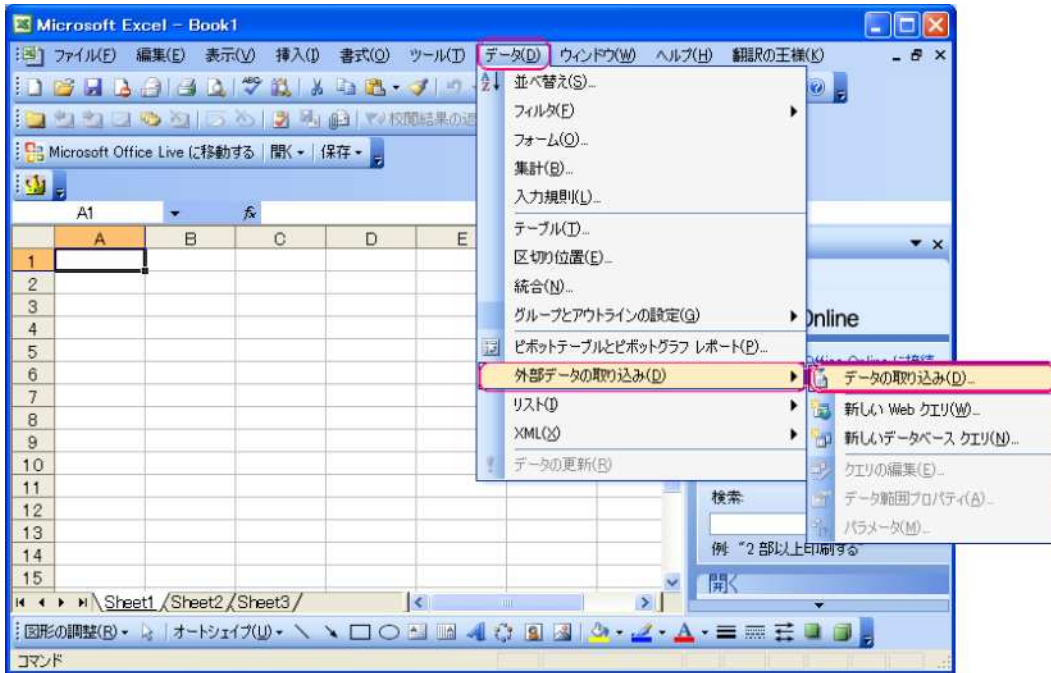


これにより、AS/400 上のデータを MS Access に取得し、通常の編集が可能になります。

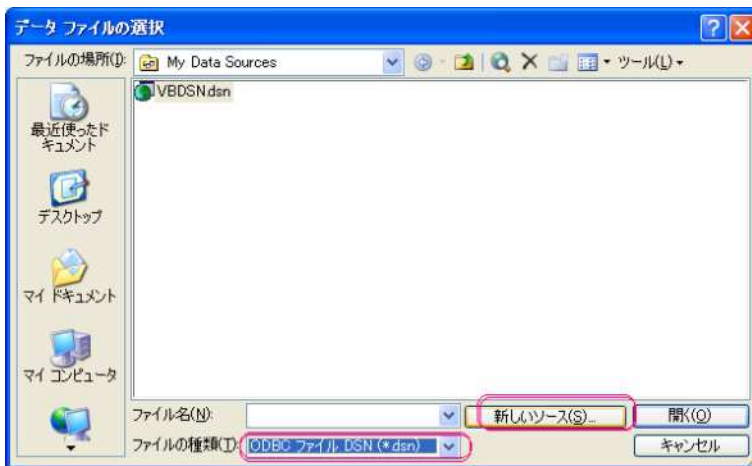
## MS Excel からの接続:

MS Excel を起動させます。

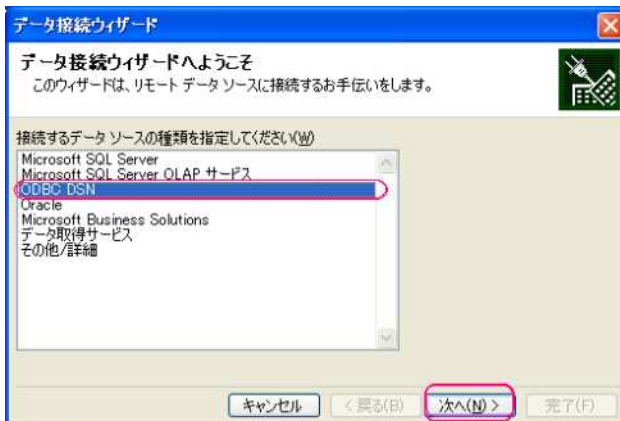
1. 「データ」、「外部データの取り込み」、「データの取り込み」を選択します。



2. ファイルの種類で「ODBC ファイル」を選択し、「新しいソース」ボタンをクリックします。



3. 次に「ODBC DSN」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。





4. ODBC データソースとして HiTODBC を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



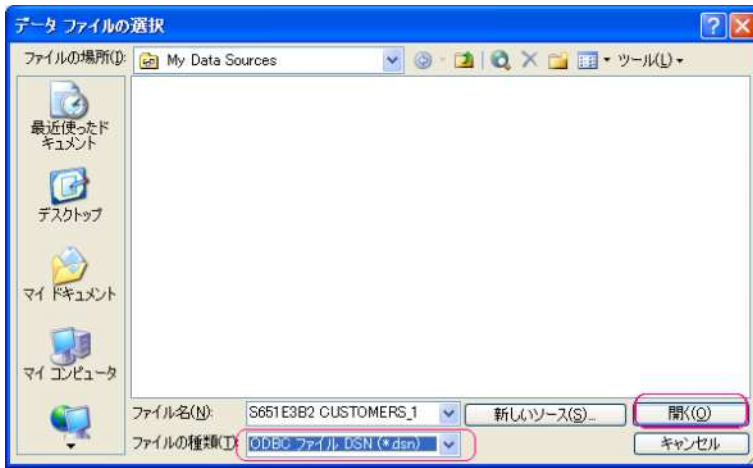
5. Login ID、 Password、 Database(名)を入力、選択し、「OK」ボタンをクリックします。



6. 使用したいテーブル名を選択し、「完了」ボタンをクリックします。



7. 次にファイルの種類で「ODBC ファイル DSN(\*.dns)」を選択し、「開く」ボタンをクリックします。



8. Login ID、 Password、 Database(名)を入力、選択し、「OK」ボタンをクリックします。



9. AS/400 データが Excel シートに表示され、編集作業が続けて行うことができます。

